

休眠預金活用事業

資金分配団体: 公益財団法人日本国際交流センター

事業名: アウトリーチ手法による外国ルーツ住民の自立支援 ～困窮からの抜け出しを支える体制作り～

実行団体: ワールドフレンズ天草

事業名: 外国人散在地域天草における外国ルーツ住民の社会参画支援

天草地域は、大小 130 ほどの島々で構成され、人口約 7.8 万人（天草市、上天草市、苓北町）を擁する、全国的にも特徴的な外国人散在地域だ。地域全体で約 750 名の外国ルーツ住民が暮らす、その実態把握は難しい状況にある。

彼らは、言語や文化の壁により、安定した職に就くことが困難、DV 被害者が緊急避難できる場所が遠方しかない、あるいは公共施設に彼女らの居場所や相談場所がないといった深刻な課題に直面する。さらに、コロナ禍は地域の主要産業である観光業や一次産業に大きな打撃を与え、多くの事業所が閉店した。これにより、外国ルーツ住民が職を失ったり、配偶者の失職等による虐待や DV 被害が増加したりと、慣れない土地での困窮や孤立のリスクが高まっている。

地域には、引きこもり支援や DV 被害者のためのシェルターなど、福祉・就労に関わるインフラやプログラムが十分に整備されておらず、行政による既存の取り組みも応急処置的な対応に傾斜しがちで、多様な課題を抱える外国ルーツ住民への持続可能な支援は困難な状況にある。

こうした複合的な課題を改善し、天草地域に暮らす外国ルーツ住民が安心して社会に参画できる環境を整備するため、本事業では以下の活動を通じて、地域全体の支援体制の構築と、誰もが安心して自分らしく暮らせる多文化共生社会の実現を目指す。

本事業で実現すること

本事業は、困難な状況に直面している天草地域の外国ルーツ住民が、地域社会の一員として尊重され、安心して自分らしく生きていけるよう、以下の 3 つの柱を中心に支援を推進する。

① 就労支援

背景にある課題: 言語や文化の壁が原因で、外国ルーツ住民が安定した仕事に就くことが難しい状況があり、社会参加や就労への具体的な道筋が見えにくいという課題を抱える。

具体的な取り組み:

- ・ カフェを拠点とした OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）の実施: 当団体のカフェを拠点とし、就労を希望する外国ルーツ住民を対象に、メニュー開発、接客、SNS での情報発信など、カフェ運営に関する OJT を提供する。これにより、「社会参加と就労経験」の機会を創出し、彼らの社会的つながりの改善や就労意識の向

上を図る。

- 雇用企業向け相談会の開催: 外国人雇用に関心のある企業や雇用予定の企業を対象に、外国人受入センターや地方経済総合研究所等の専門家を招いた講話や相談会を実施する。これは、優良な人材と企業との適切なマッチングに繋がると期待する。

目指す成果:

- 言語や文化を背景とする困難を抱える外国ルーツ住民が、自身の希望する職業に具体性を持たせ、実際に行動に移せるようになる。
- 新規の資格取得や就職、転職、起業といった具体的な就労成果を目指す。
- カフェを通じて、日本人住民の外国ルーツ住民に対する理解を深め、共生意識の向上に貢献する。

② 交流・相談支援

背景にある課題: 天草地域では、外国ルーツ住民のニーズが見えにくく、既存の地域資源へのアクセスが困難なため、孤立しやすい状況にある。特に、DV 被害者への緊急避難支援体制の不足は深刻な問題だ。

具体的な取り組み:

- 多様な交流の場の提供: 外国ルーツ住民と日本人住民が共同で企画する定期的なイベントや、互いの悩み相談ができる「おしゃべり会」を定期的を開催する。これにより、地域の人々がお互いを深く知り、相互理解と共感を育む機会を創出する。
- 安心して相談できる環境の整備: DV などプライベートな相談も安心して行える専用の相談スペースを設置し、行政や専門機関と連携した相談対応を行う。これにより、悩みを抱える外国ルーツ住民が相談先がなく孤立することを防ぐ。
- レスパイト施設の運営: 困難を抱える人々が安全に休息・避難できるレスパイト施設を運営し、必要に応じて既存の緊急避難場所へ繋ぐ、または地域内で休息・避難を可能にする仕組みを構築する。

目指す成果:

- 地域住民間の相互理解と共感が進展し、外国ルーツ住民が地域に自分のことを話せる相手がいると感じられるようになる。
- 相談できる内容の幅が広がり、外国ルーツ住民の生活に関する安心感・安定感が向上する。
- 緊急時に必要な支援にアクセスできる連携体制が構築され、地域全体で外国ルーツ住民が安心して暮らせる環境が整備される。

③ 日本語教室の新規立ち上げサポート

背景にある課題: 行政や民間による日本語支援が不足している隣接地域では、外国ルーツ住民が身近な場所で日本語を学ぶ機会が限られる。

具体的な取り組み:

- 地域キーパーソンへの働きかけ: 支援の必要性が高い隣接地域において、地域のキ

ーパーソンとなる人々への働きかけや、外国ルーツ住民の実態調査へのアドバイスを行う。

- ・ ステークホルダーとの連携推進: 県や地域の事業所などの多様なステークホルダー（行政、警察、消防、民間企業、在住外国人、一般市民など）との連携を進め、協議会形式での日本語教室設立・運営を目指す。
- ・ 行政による予算化支援: 地域での日本語教室の立ち上げをサポートし、将来的には行政による事業の予算化を目指すことで、持続可能な支援体制を構築する。

目指す成果:

- ・ 行政からの委託事業として日本語教室が安定的に運営される体制作りが進み、外国ルーツ住民が身近なところで継続的に日本語学習にアクセスできるようになる。
- ・ 日本語能力の向上を通じて、就労機会の拡大や地域社会へのより深い参画が促進される。

事業概要

- ・ 事業実施期間: 2023 年 10 月 1 日から 2026 年 2 月 28 日
- ・ 対象地域: 天草市、上天草市、苓北町、熊本県
- ・ 直接的対象グループ: 天草地域在住の外国ルーツ住民とその家族。特に、言語や文化の壁が原因で安定した仕事に就くことが困難な方、DV 等家庭内での問題を抱えている方（特に女性と母子）、いじめや差別等の経験から社会とのつながりが希薄になった方を対象とする。
- ・ 最終受益者数（目標）: ①本事業でサービスや支援につながった外国ルーツ住民 75 人、②その家族 150 人、③地域住民 120 人

事業目標と指標

事業内容	短期アウトカム（目標）	主な指標（一部）
就労支援	働くことが困難な外国ルーツ住民が、就きたい職業に具体性を持たせられるようになる	・ カフェ運営関与人数 ・ 就労への具体的な行動を起こした人の割合
交流・相談支援	地域の住民間での相互理解と共感が進展する	・ 交流イベントの継続参加率 ・ 共感の度合い ・ 相談できる相手の多様性
日本語教室サポート	新規に立ち上げた日本語教室が行政からの委託事業として運営される	・ 行政からの委託状況

本事業が目指す社会（SDGs との関連）

